

# 理論編

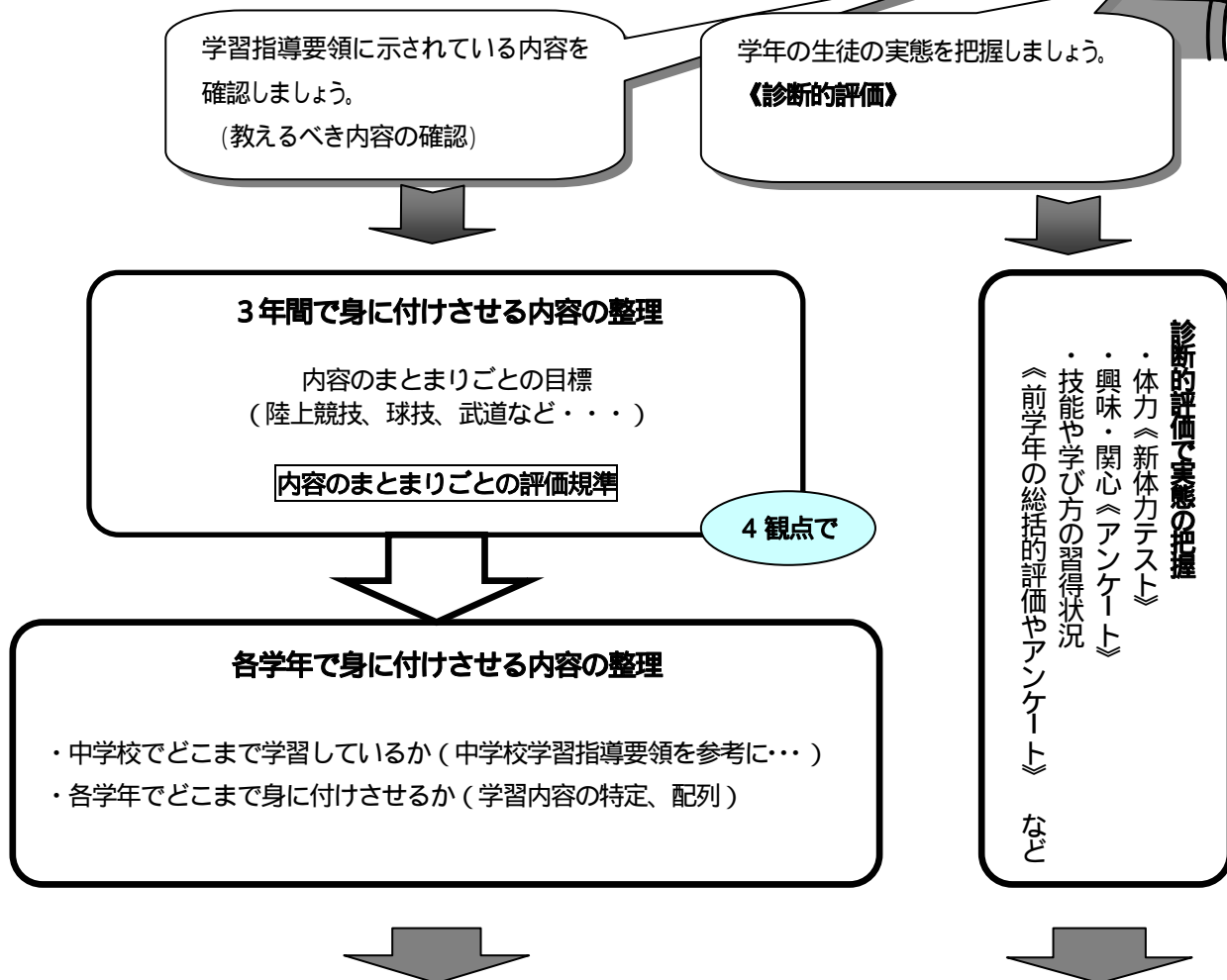
体育について	..... P 2 5 ~ P 3 0
保健について	..... P 3 1 ~ P 3 6

# 体育について

## Q 単元の目標を設定するには？

学習指導要領の内容を踏まえて、3年間で身に付ける内容（内容のまとめりごと）を整理し、さらに各学年で身に付ける内容を整理して、単元の目標を設定します。

その際次のことに注意しましょう。



### 単元の目標例(2学年バレーボール)

バレーボールの三段攻撃とレシーブフォーメーションに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバレーボールの楽しさや喜びを味わおうとするとともに、練習やゲームではチームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。また、ゲームでは審判の指示に従い、ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとするとともに、活動場所の安全を確かめ、健康、安全に留意して練習やゲームをしようとする。

チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定し、チームや自分の課題を解決するための適切な練習方法などを選んだり、見付けたりできるようにする。また、技能の段階に応じて相手との攻防にあった作戦を立てることができるようにする。

相手のサーブに応じたレシーブフォーメーション、レシーブ、トス、スパイクの三段攻撃を使ってゲームができるようにする。

バレーボールの集団的技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、練習計画の立て方、ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方について言ったり、書き出したりできるようにする。

## Q 単元の評価規準を作成していくためには？

領域の評価規準（国立教育政策研究所の「内容のまとまりごとの評価規準」を参考）をもとに、単元の目標を学習活動に当てはめ、単元の評価規準を設定します。

その際、次のことに注意しましょう。



目標に対する実現状況を見るために、目標を具体的に表現しましょう。



指導にフィードバックできるよう学習の組み立てを考慮しましょう。



国立教育政策研究所の評価規準例を参考にしましょう。



### 単元の目標例(2学年バレーボール)

バレーボールの集団的技能に着目して...  
チームや自分の能力に応じた課題を設定...  
チームや自分の能力に応じてゲームが...  
主に、バレーボールの集団的技術の構造...

### 国立教育政策研究所

#### 「内容のまとまりごとの評価規準」(球技)

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるようチームにおける...	チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して...	チームの課題や自分の能力に応じて、選択した球技種目の特性に応じた...	選択した球技種目の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための...

### (単元の評価規準例(2年バレーボール))

関心・意欲・態度 《目標の より》	思考・判断 《目標の より》	運動の技能 《目標 より》	知識・理解 《目標の より》
バレーボールの三段攻撃とレシーブフォーメーションに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバレーボールの楽しさや喜びを味わおうとするとともに、練習やゲームではチームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。また、ゲームでは審判の指示に従い、ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとするとともに、活動場所の安全を確かめ、健康、安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定し、チームや自分の課題を解決するための適切な練習方法などを選んだり、見付けたりしている。また、技能の段階に応じて相手との攻防にあった作戦を立てている。	相手のサーブに応じたレシーブフォーメーション、レシーブ、トス、スパイクの三段攻撃を使ってゲームができる。	バレーボールの集団的技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、練習計画の立て方、ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方について言ったり、書き出したりしている。

単元における「目指す生徒の姿」を具体化するために、評価規準もさらに具体化していきましょう！

## ○ 具体の評価規準を作成していくためには？



学習活動における目標、つまり「目指す生徒の姿」をより具体化するために、単元の評価規準を学習のねらい、生徒の実態等に合わせて、さらに具体化していく必要があります。このことは評価の信頼性を高めることにもつながります。

その際、次のことに注意しましょう。

評価場面を意識しながら、評価規準をより具体的にしていきたいと思います。

評価に追われることのないよう、学びの姿のポイントを表現しましょう。

どのような状況が「十分満足できると判断される」状況(A)なのかをはっきりさせましょう。

(単元の評価規準例(バレーボール))

関心・意欲・態度 《目標の より》	思考・判断 《目標の より》	運動の技能 《目標 より》	知識・理解 《目標の より》
バレーボールの三段攻撃とレシーブフォーメーションに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う～	チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定し、チームや自分の課題を解決するための適切な練習方法などを～	相手のサーブに応じたレシーブフォーメーション、レシーブ、トス、スパイクの三段攻撃を使ってゲームが～	バレーボールの集団的技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、練習計画の立て方、ルール、審判法～



(学習活動における具体の評価規準例(バレーボール)「おおむね満足できると判断される」状況(B))

関心・意欲・態度 《目標の より》	思考・判断 《目標の より》	運動の技能 《目標 より》	知識・理解 《目標の より》
バレーボールの三段攻撃とレシーブフォーメーションに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバレーボールの楽しさや喜びを味わおうとする。 練習やゲームではチームにおける自分の役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとする。 ゲームでは審判の指示に従い、ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとする。 活動場所の安全を確かめ、健康、安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームや自分の能力に応じた適切な課題を設定している。 チームや自分の課題を解決するための適切な練習方法などを選んだり、見付けたりしている。 技能の段階に応じて相手との攻防にあった作戦を立てている。	相手のサーブに応じたレシーブフォーメーションの動きができる。 レシーブ、トス、スパイクの三段攻撃の動きができる。	バレーボールの集団的技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、練習計画の立て方について言ったり、書き出したりしている。 ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方について言ったり、書き出したりしている。

(十分満足できる) 状況  
・ 自ら進んで取り組み～  
・ 仲間に気を配り～  
・ 率先して・常に など

(十分満足できる) 状況  
・ 見付けている など

(十分満足できる) 状況  
・ タイミングよくできる  
・ 的確にできる など

(十分満足できる) 状況  
・ 説明できる など

単元計画に評価をする場面を組み込み、評価計画を作りましょう。

# Q 「指導と評価の計画」を作成していくためには？



評価の妥当性を高めるために、「いつ」「何を」「どんな方法」で評価していくのか、指導の流れに合わせて計画を立てることが必要です。

その際、次のことに注意しましょう。

授業のねらいに合わせて評価場面を設定し、指導と評価の視点を絞みましょう。

学習の進行途中で実現状況を確認し指導の見直し、改善に役立てます。

発表会や記録会、アンケート等により目標実現状況を把握しましょう。

(学習活動における具体的評価規準例(バレーボール)「おおむね満足できると判断される」状況(B))

関心・意欲・態度 《目標の より》	思考・判断 《目標の より》	運動の技能 《目標 より》	知識・理解 《目標の より》
バレーボールの三段攻撃～ 練習やゲームでは、～ ゲームでは、審判の～ 活動場所の安全を～	チームや自分の能力に～ チームや自分の課題を～ 技能の段階に応じて～	相手のサーブに応じた～ レシーブ、トス～	バレーボールの～ ルール、審判法～

## (指導と評価の計画例)

時数	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準				評価方法等
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	
1	《オリエンテーション》 学習のねらいや道すじ、具体的な進め方を理解する。 学習上の約束と用具の準備やマナー・安全への配慮について理解する。 学習ノートの使い方と活用方法について理解する。					学習カード
2	ねらい1 「チームや自分の課題を見つけながらゲームを楽しむ」  課題発見ゲーム ゲームの振り返り(ゲーム記録表・発問カード)					観察 学習カード
3 4 5	ねらい2 「個人的技能と集団的技能を高めながらゲームを楽しむ」  評価活動を位置付けるため、学習内容が分かるように記述しましょう。					観察 学習カード
6	ねらい3					
	まとめ					

今回はモデルとして体育は「ねらい・学習活動」、保健では「学習内容と活動」という形で整理をしています。

教え合いの活動、ゲームの学習など  
学習内容を明確に！

評価の方法  
観察・学習カード・  
問いかけなど

それぞれの具体的評価規準をもとに、生徒の学習行動に合わせて、判断する手がかりを作成していきます。  
学習に応じて、評価を精選し、位置付けましょう。  
客観性を高めるために、多様な評価方法を活用しましょう。



## Q 評価方法にはどのようなものがありますか？



評価の客観性を高めるために、どの観点も複数の評価方法を用いて評価が適正であるか比較することが必要です。その際、次のことに注意しましょう。

自己の学習状況の確認をし、また、次の学習の意欲を持つためにも自己評価を大切にしましょう。

評価をすることが目的ではなく、評価をどのように生かしていくのかを考えましょう。

評価資料を蓄積しておくために、教師用補助簿を観点別に作成しておきましょう。

### ア 学習カード・ノート等の記述による評価例

【学習カードの記述をもとに見取る例】

反省・課題	私たちのチームはサーブレシーブで失点することが多かったので、サーブレシーブとカバーリングを課題とします。(分析と課題)
	練習方法は3人でサーブレシーブ隊形をつくり、声をかけ合い、自分がレシーブしない時もボールの方向に体を向け、カバーできるようにする練習をします。(課題解決方法)

自分のチームの能力に応じた適切な課題を設定している。  
【思考・判断】

チームの課題を解決するための適切な練習方法を工夫している。  
【思考・判断】

内容を絞り込む指示、内容の読み取り方、コメントの返し方を事前に明確にしておきましょう。

### 📅 ゲーム記録は技能の評価の参考にします

	セッター No.	なまえ	触球数	サポート数	パスを受けた数	シュート数	ゴール数	シュート成功率
1	4	さん	9	10	8	3	3	100%
2	5	さん	20	9	15	9	3	33%
3	6	さん	12	12	10	12	10	83%

技能の評価は、動きの“質”を見取ることが基本です。客観的データは技能の参考とします。

### 📅 自己評価結果は、直接評価材料にしません

自己評価は直接的には評価材料にしません。教師の観察等による評価と比較することにより、生徒の自己評価能力等を見取ることができます。

【自己評価】

評価項目			
準備や片付けを進んで行おうとした			
審判や記録係等に積極的に取り組もうとした			
練習やゲームに積極的に参加した			

### ウ 観察による評価例

【観察による評価方法例】

評価項目	関心・意欲・態度		
生徒氏名	A) ~ 勝敗を競い合う楽しさを積極的に味わおうとする。	A) ~ 自分の役割を自覚し、自ら進んで協力しようとする。	
	C) 味わおうとしない。	C) 協力しようとする。	
	A	2/15	2/24
	C		
	A		
	C	2/21	
	A		
	C		

観察する場面を想定し、手軽にできる方法を工夫しましょう。

### エ ペーパーテストによる評価例

【場面テストによる評価例】

#### Aチームの特徴

Aチームはセッターが上手でいろいろな方向にトスを上げることができるが、みんな身長が低いので、アタックが相手のブロックに阻まれてしまう。

【問】上の特徴からAチームにふさわしい攻撃方法とその練習法を考えなさい。

📅 それぞれの評価資料は、即指導に生かしたり、単元末にまとめて、次の単元に活用したりします。

## Q 評価資料はどのようにまとめるのですか？



単元終了時には、教師用補助簿にそれぞれの観点別の評価をまとめ、次の学習の目標や計画の見直しをしましょう。

その際、次のことに注意しましょう。

**1** 個人カードや一覧表等を工夫し、集計しやすい教師用補助簿を作成しましょう。

**2** 評価を総括する方法を決めておきましょう。例えば「パターン化」「数量化」等があります。

**3** 必要に応じて、生徒・保護者に説明し、次の学習の課題を考える手立てを提供しましょう。

**パターン化：** 観点内にA (A、B、C、C)が 個以上ある場合は、総合評価をA (A、B、C、C)とする。

**数 量 化：** A を5点 Aを4点 Bを3点 Cを2点 Cを1点とし、 点(%)以上なら総合評価をA (A、B、C、C)とする。

ここでは例として・・・

「十分満足できると判断される」状況(A)を = A

「おおむね満足できると判断される」状況(B) = B

「努力を要すると判断される」状況(C) = C

(A)(C)について、それぞれ程度の高い(低い)ものを = A、C  
・・・とします。

### ア 個人評価集計カードを使用した例

2年 組 番 氏 名		評価資料						総合評価	
観点	2年バレーボール おおむね満足できると判断される状況 (B)	観 察	カ ード 記 述	ノ ー ト 記 述	ゲ ー ム 記 録	技 術 カ ー ド	記 述 テ ス ト		日 記
関心 意欲 態度	バレーボールの...楽しさを味わおうとする。	A		A				A	A
	練習やゲーム...協力しようとする。	A	A					B	A
	ゲームでは...受け止めようとしている。	B	A					A	A
	活動場所の...安全に注意しようとしている。	B	A		B				B
思考 判断	自分やチームの課題を選んでいる。	A		B	B				B
	自分やチームの...練習方法を選んでいる。			A	A			A	A
	相手との攻防にあった作戦を選んでいる。			B	B				B

### イ 評価集計一覧表を使用した例

2年バレーボール												総合評価				
生徒氏名	おおむね満足できる	関心・意欲・態度								知識・理解				総合評価		
		バレーボールの...楽しさを...		練習やゲーム...協力しよう...		ゲームでは...受け止め...		活動場所の...安全に...		バレーボールの...			防御の仕方...言ったり、...			
評価資料	観 察	ノ ー ト 記 述	観 察	ノ ー ト 記 述	観 察	カ ー ド 記 述	ノ ー ト 記 述	観 察	観 察	記 述 テ ス ト	カ ー ド 記 入	観 察	記 述 テ ス ト			
1 さん	A	A	B	A	A	A	B	A		B	B	5/10	B	B	6/10	B
2 さん	B	B	C	B	B	B	A	B				9/10	B	A	8/10	A

<ポイント>  
生徒による自己評価や相互評価は、あくまで参考とし、評価材料にはしません。

評価を学習活動や指導に生かすために、生徒や教師自身にフィードバックしましょう

# 保健について

## Q 保健学習に求められている内容は？

評価の前に、まず指導ありきです。学習指導要領における保健学習のねらいと主な内容を確認しましょう。



### 保健学習のねらい

ヘルスプロモーション の考え方を生かし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、生活行動や環境を改善していく資質や能力の基礎を培い、**実践力**を育成する。

人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセスのこと。健康的な生活を実践する知識を十分与えた上で、さらに環境面からもその実践を容易にするようなサポートを行うという発想。1986年のWHOオタワ会議で提唱。

### 内容を構成する上でのポイント

- 健康の大切さや体の発育・発達などの基礎的・基本的な事項が理解できるようにする。
- 健康的なライフスタイルを確立する。
- 深刻化する健康・安全に関する新たな課題等に対応する。
- 心の健康の保持増進に関する理解を図る。

### 学習指導要領改訂のポイント

- 健康を保持増進するためには、単なる知識・理解にとどまらず、個人の適切な「意志決定」「行動選択」が重要であることについて取り扱う。
- 生活習慣病の予防やエイズ及び腸管出血性大腸菌感染症など、感染症の新たな課題についても取り扱うとともに、薬物乱用防止に関する内容を充実させる。
- 心の健康については、自らの可能性を最大限に生かして自分を高めていくことの大切さや欲求、ストレスの対処を重視する。

### 保健学習の内容と具体的事項

(1)現代社会と健康	「ア 健康の考え方」、「イ 健康の保持増進と疾病の予防」、「ウ 精神の健康」、「エ 交通安全」、「オ 応急手当」
(2)生涯を通じる健康	「ア 生涯の各段階における健康」、「イ 保健・医療制度と地域保健・医療機関の活用」
(3)社会生活と健康	「ア 環境と健康」、「イ 環境と食品の保健」、「ウ 労働と健康」

### 学習方法の工夫

実習などの多様な方法を活用しましょう。

指導に当たっては、**心肺蘇生法**、**ロールプレイング**（役割演技法）などの実習や**ディスカッション**、必要な**実験**を取り入れる、**課題学習**を積極的に導入する、地域や学校の実情に応じて**養護教諭**や**栄養教諭**、**学校栄養職員**など専門性を有する教職員等の参加・協力を推進するなどの多様な指導方法の工夫を行うことにより、学習効果を高めましょう。

また、それぞれの学習活動に応じた評価の工夫をしていきましょう。





## Q 単元の評価規準の設定の手順は？

1 保健の目標を確認しましょう。

2 保健の評価の観点及びその趣旨を確認しましょう。

3 学習指導要領に示されている内容を確認しましょう。



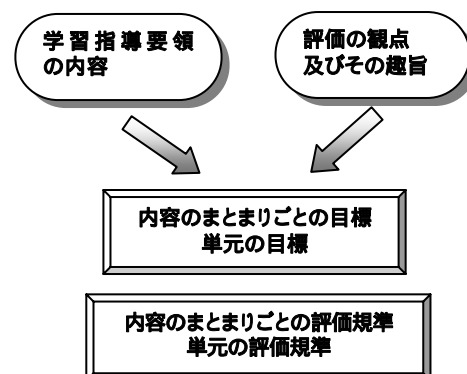
### 【学習指導要領の内容：(1)現代社会と健康 - ウ 精神の健康の例】

現代社会と健康	我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。
精神の健康	人間の欲求と適応機制には様々な種類があること及び精神と身体には密接な関連があること。また、精神の健康を保持増進するためには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。

4 内容のまとめりごとの評価規準と単元の評価規準を設定しましょう。

これらの「評価の観点及びその趣旨」と「学習指導要領の内容」を踏まえて内容のまとめりごと及び単元ごとの指導目標を設定します。その際、生徒にどのような資質や能力を身に付けさせようとしているのかを明確にすることが重要です。各学校・学年の教育目標、生徒の実態等を考慮することも必要です。

そして、それらの内容のまとめりごと及び単元の目標について、評価の観点ごとに具体化した評価規準を設定します。



### 【内容のまとめりごとの評価規準と単元の評価規準】

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
内容のまとめりごとの評価規準	健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習しようとしている。	健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにしたり、資料や仲間の意見や考えなどを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断している。	健康の保持増進に必要な事柄について健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けている。
単元の評価規準	「精神の健康」 人間の欲求と適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることについて、自分の経験や仲間との意見交換、資料などをもとに、課題について調べ、記録したり、発表したりしようとしている。	「精神の健康」 人間の欲求と適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることについて、資料や仲間の意見をもとに、課題を見付けたり、解決方法をまとめたり、日常生活に当てはめたりして、選択すべき行動を判断している。	「精神の健康」 人間の欲求と適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることについて、具体例を挙げたり、言ったり、書き出したりしている。

(参考資料：国立教育政策研究所 評価規準、評価方法の工夫改善のための参考資料)

## Q 具体の評価規準の設定のポイントは？

目標の実現状況を判断するために観点別評価規準の具体例を設定します。  
設定するときは、次の2つの点に留意しましょう。

できるだけ行動目標的な表現  
生徒の学習活動がイメージできる表現

「関心・意欲・態度」や「思考・判断」については、その場面を教師自らが学習活動の中に仕組み、そこで現れる具体の姿を評価するようにしましょう。



### 【具体例】

「おおむね満足できる状況」の生徒の学習の姿を、行動目標的(目標とする行動・活動等の姿を具体的に)に示します。

「意見を発表しようとしている」  
「適切な対処の必要性について、言ったり書き出したりしている」など

## Q 各観点の具体の評価規準の表現のポイントは？

### 関心・意欲・態度

多面的に評価できるようにすることが大切です。

#### 《見える姿 …………… 観察等》

「聞こうとしている」、「発言・発表しようとしている」、  
「調べようとしている」等の具体的な姿を表現します。

#### 《内面に関すること …………… ワークシート等の活用》

内面にかかわる見えないものを評価する規準は、ワークシート等を活用するとともに、できるだけ生徒の姿を思い浮かべて表現します。

指導法などもイメージできる表現にしましょう。

### 思考・判断

適切な意志決定・行動選択ができるような思考・判断は、「課題を見付けている」、「予測・予想している」、「分析している」、「選んでいる」等の視点を重視し、生徒の姿(行動や活動)に置き換えます。

課題を解決している状況、その思考経過をワークシート等で見ることもできます。

### 知識・理解

学習の内容について(その事柄の意義や事柄同士の関係や構造など)を「言ったり、書き出したりしている」「具体例を挙げている」「説明している」などの表現をします。

#### 例えば

具体的な事例に即して、傷害の要因が挙げられる。  
健康によい生活の仕方が説明できる。  
喫煙、飲酒、薬物乱用の健康の影響や心理社会的な要因などが挙げられる。  
心の健康に必要なものが挙げられる。  
病気の原因と予防の仕方を関連させて説明できる。

用語の丸暗記だけではなく…

## Q 具体の評価規準と学習場面における具体の学びの姿(5段階)を作成するには？

内容のまとめりごと及び単元の評価規準を作成したら、さらに学習活動における具体の評価規準と学習場面における具体の学びの姿を作成し、実現状況をより具体的に捉えられるようにします。

まず、学習指導要領の目標と内容に則して、各観点ごとにどのようなことをどの程度達成すれば、「おおむね満足と判断できる」状況(B)とするのかを設定します。

そして、それぞれの項目に応じて「十分満足できると判断される」状況(A)、「努力を要すると判断される」状況(C)、そして(A)のうち特に程度が高いもの(A)、(C)のうち特に程度が低いもの(C)を設定します。

例:(1)「現代社会と健康」、ウ「精神の健康」

	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 仲間に働きかけながら意見交換しようとしている。</li> <li>～ 常に自ら進んで記録しようとしている。</li> <li>～ 自ら進んで取り組み、身に付けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ いつでも情報を引き出せるように見出しをつけたり、項目ごとにしりして整理している。</li> <li>～ 実践につながる方法で、日常生活に当てはめている。</li> <li>～ 保持増進の実践につながる適切な行動を選んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 具体例を背景に入れたり、分かりやすく置き換えたりして説明している。</li> </ul>
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 進んで意見交換しようとしている。</li> <li>～ 進んで記録しようとしている。</li> <li>～ 自ら進んで取り組みもようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 分かりやすくまとめている。</li> <li>～ 実践を意識して日常生活に当てはめている。</li> <li>～ 自分の状況に応じた適切な行動を選んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 具体例をあげて説明している。</li> </ul>
B	<p>人間の欲求には様々な種類があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処が必要であることについて、<b>意見交換をしようとしている。</b></p> <p>適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があることについて、<b>教科書や与えられた資料をもとに、調べた内容を記録しようとしている。</b></p> <p>精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることについて、<b>関連する実習に組みこもうとしている。</b></p>	<p>適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があることについて、<b>精神の健康の保持増進について、与えられた課題をまとめている。</b></p> <p>人間の欲求には様々な種類があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処が必要であることについて、<b>日常生活に当てはめている。</b></p> <p>精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処や自己実現への努力が必要であることについて、<b>適切な行動を選んでいる。</b></p>	<p>適応機制には様々な種類があることについて、<b>言ったり、書き出したりしている。</b></p> <p>精神と身体には密接な関連があることについて、<b>言ったり、書き出したりしている。</b></p> <p>精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処が必要であることについて、<b>言ったり、書き出したりしている。</b></p> <p>精神の健康を保持増進するには自己実現への努力が必要であることについて、<b>言ったり、書き出したりしている。</b></p>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 断片的な意見交換に留まっている。</li> <li>～ 部分的な記録に留まっている。</li> <li>～ 部分的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 部分的なまとめに留まっている。あるいは的外れなまとめになっている。</li> <li>～ 部分的に日常生活に当てはめているが、的外れなものとなっている。</li> <li>～ 適切でない行動を選んでしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 断片的に言ったり書き出したりしている状況に留まっている。</li> </ul>
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 意見交換をしようとしていない。</li> <li>～ 記録しようとしていない。</li> <li>～ 取り組もうとしていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ まとめられずにいる。</li> <li>～ 手立てを講じても、日常生活に当てはめられずにいる。</li> <li>～ 適切な行動を選べずにいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>～ 全く言えなかったり、書き出したりできない。</li> </ul>

## Q 努力を要すると判断される生徒への指導の手だては？

努力を要すると判断される生徒には、その生徒の状況に即して、より具体的な資料を提示したり、学習の進め方について助言したり、生徒と共に具体的な生活場面を想起したりして、「おおむね満足できる状況」になるように支援します。

【具体例】各観点における「努力を要する状況」とそれに対する「手だて」

個に応じた指導と支援を充実させましょう。

【関心・意欲・態度】**生徒の状況** 課題に対する意識が高まらず、自分で課題を見付けようとしなない。

④ 自分の生活を振り返らせる。課題となる場面を提示する。考えるヒントを与える。

【思考・判断】**生徒の状況** 問題点が見付けられず、予想したり、分析したりできない。

④ 別の具体的な資料を提示する。仲間の意見を参考にさせる。

【知識・理解】**生徒の状況** 学習したことの用語を挙げられる程度に留まっている。

④ 各班の発表資料の見直し・確認をすることによって再度整理させ、生徒の理解の程度に応じて補足説明をする。



# Q 評価の実施者、方法等は？

「いつ」、「だれが」、「どのような方法で」評価するかを決定し、学習指導計画に位置付けます。

評価の結果が次の学習に生かされるようにしましょう。  
ワークシートなどの記述から見取れるようにしましょう。



## 【指導と評価の計画】

例：(1)「現代社会と健康」、ウ「精神の健康」

今回はモデルとして保健では「学習内容と活動」、体育は「ねらい・学習活動」という形で整理をしています。

時	学習内容と活動	学習活動における具体的評価規準	
1	<p><b>「欲求と適応機制」</b></p> <p><b>【学習内容】</b> 行動の根源が欲求にあることに気付き、精神機能が主として脳によって統一的・調和的に営まれていることや人間には様々な欲求があること</p> <p><b>【学習活動】</b> 人間の行動と欲求について意見交換をする。 人間の欲求と脳の働きについて知る。 現在の自分が「～したい」という事柄を挙げ、発表し合う。 自分と仲間の欲求を整理し、分類する。 発表し合い、学習のまとめをする。</p>	<p><b>【 】</b>・・・評価の観点 <b>《 》</b>・・・評価の方法</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> 《観察》 人間の欲求には様々な種類があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処が必要であることについて、意見交換をしようとしている。 ( 毎時 )</p>	<p>A ~ C の状況を示すキーワードやキーセンテンスを予め決めておくと、評価のぶれ幅が少なくなるとともに、より効率的になると考えられます。</p> <p><b>【関心・意欲・態度】</b> <b>《観察》</b> 教科書による一斉講義型の授業だけでは、なかなか見取れません。 生徒が実際に活動する、いわゆる「参加型」の授業を取り入れましょう。</p>
2	<p><b>【学習内容】</b> 欲求不満から生じる不安や悩みがあるときに現われる適応機制には、様々な種類があることを理解し、日常生活では様々な適応機制を用いていること</p> <p><b>【学習活動】</b> 欲求不満から生じる不安や悩みがあるときに現われる適応機制について話し合う。 教科書や資料をもとに、適応機制の種類とその内容について調べる。 自分の行動傾向について、分類された適応機制に当てはめて分析し、自分の行動の問題点を考える。 グループで話し合い、学習のまとめをする。</p>	<p><b>【知識・理解】</b>《ワークシート・テスト》 適応機制には様々な種類があることについて、言ったり、書き出したりしている。 ( 2 時 )</p> <p><b>【思考・判断】</b>《ワークシート・テスト》 人間の欲求には様々な種類があること、精神の健康を保持増進するにはストレスへの適切な対処が必要であることについて、日常生活に当てはめている。 ( 2 時 )</p>	<p><b>【思考・判断】</b> <b>《ワークシート》</b> ワークシート等には、生徒の思考を促すよう、発問形式にするなどの工夫をしましょう。</p>
3	<p><b>「心身相関とストレス」</b></p> <p><b>【学習内容】</b> 具体的な事例から、人間の精神（心）と身体（体）は密接な関連を持ち、身体的ストレスが精神の健康に影響し、精神的ストレスが身体に健康に影響すること</p> <p><b>【学習活動】</b> 日常生活の中での心と体のかかわりについて話し合い、本時の学習課題を見付ける。 極端な寒暖や腹痛などの例をヒントに、精神的ストレスの体への影響について調べる 「断腸の思い」の資料をヒントに、精神的ストレスの体への影響について調べる。 発表し合い、学習のまとめをする。</p>	<p><b>【思考・判断】</b>《ワークシート・テスト》 適応機制には様々な種類があること、精神と身体には密接な関連があることについて、精神の健康の保持増進について、与えられた課題をまとめている。 ( 3 時 )</p> <p><b>【知識・理解】</b>《ワークシート・テスト》 精神と身体には密接な関連があることについて言ったり、書き出したりしている。 ( 3 時 )</p>	<p><b>【知識・理解】</b> <b>《ワークシート》</b> 学習活動中に使用したワークシートの記述内容を読み取り、各評価規準に照らして評価します。</p>
<p><b>【思考・判断】 【知識・理解】 《定期テスト》</b> 単元終了後に実施する定期テストにおいて、評価規準に照らした内容を問う問題を作成し実施する。</p>			

